

## 本紙2作品が受賞 東京写真記者協会賞



日本経済新聞社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：長谷部剛）は11月27日、東京写真記者協会（新聞、通信、放送の35社加盟）が2023年の優れた報道写真に贈る協会賞で、一般ニュース部門（国内）奨励賞と文化芸能部門奨励賞を受賞しました。

一般ニュース部門（国内）奨励賞には、将棋の藤井聡太七冠が永瀬拓矢王座を破った対局の終盤を撮影した「前人未到の八冠」（写真上、沢井慎也、目良友樹記者撮影）が選ばれました。永瀬王座が自身の落手に頭を抱えた瞬間を捉えた一枚です。



文化芸能部門奨励賞には「八冠でも実力不足」（写真右、小園雅之、沢井慎也、目良友樹記者撮影）が選ばれました。プロ棋士の登竜門である奨励会に入会した小学4年生の時の藤井さん（2012年12月）と八冠を達成した翌日の藤井さん（10月12日）が、将棋盤の脇で同じポーズをとる写真を並べた2枚組の作品です。



グランプリ（協会賞）は、『「戦地に彩りを」ウクライナ侵略1年』（産経新聞社）に贈られました。

受賞作品は12月13日から21日まで東京・日本橋三越本店で、来年1月6日から4月14日まで横浜市の日本新聞博物館でそれぞれ開催される「2023年報道写真展」で展示されます。入場無料。

---

#### 日本経済新聞社について

日本経済新聞社は1876年以来、140年以上にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。約1500人の記者が日々、ニュースを取材・執筆しています。主力媒体である「日本経済新聞」の販売部数は156万部、2010年3月に創刊した「日本経済新聞 電子版」をはじめとするデジタル有料購読数は97万で、有料・無料登録を合わせた会員数は620万を上回っています。

#### 本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 広報室 [TEL:\(03\)3270-0251](tel:0332700251) (代表)